

道づくりだより

第32号

2010. 10 島根県道づくり調整会議



一般県道 米子広瀬線 安田工区（交通安全事業） 一部開通

CONTENTS

1. (一) 米子広瀬線 安田工区の交通安全事業について
2. 9県知事共同で高速道路の早期整備を要望しました
3. 山陰道（三隅～益田間）が都市計画決定されました！
4. 中国横断道尾道松江線（尾道JCT～世羅IC間）
11月27日（土）に開通！
5. 山陰道の整備は8割以上が「必要」と回答
6. 美又農道が開通します
7. 林道を通っていきましょう！（東部・隠岐編）
8. 橋梁点検講習会を行いました



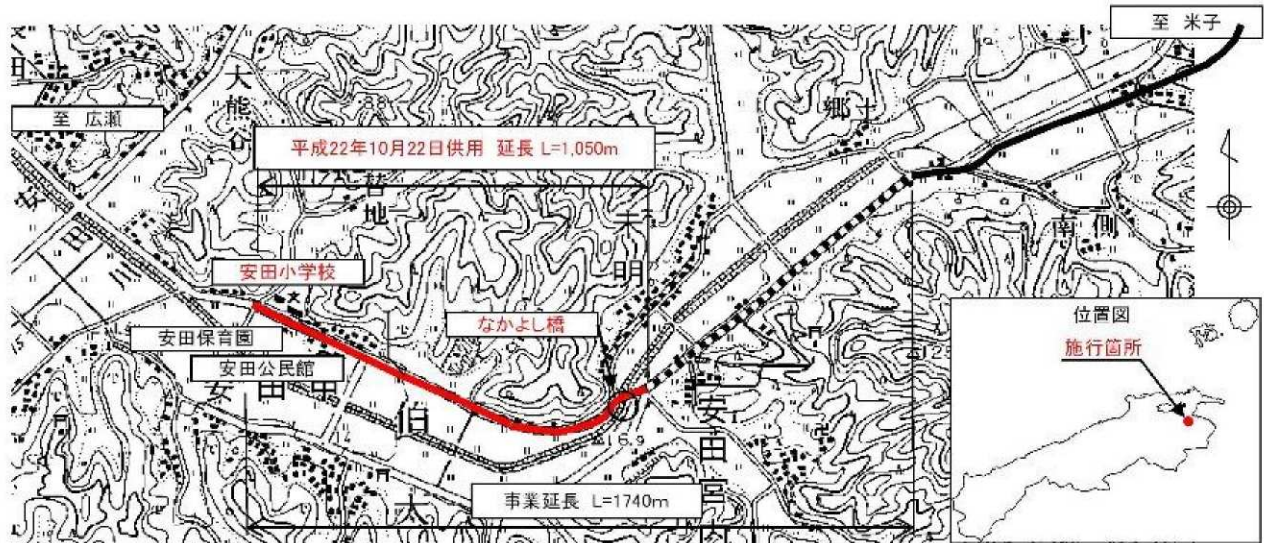
(一) 米子広瀬線 安田工区の交通安全事業について

安来市伯太町安田地内で実施しております社会資本整備総合交付金（交通安全）事業において、この度一部区間（L=1,050m）が完成したことに伴い、平成22年10月22日（金）に開通式が行われました。

当該区間の周囲は、安田保育園、安田小学校、安田公民館等が位置しており、通学児童等の歩行者が多い区間ですが、歩道が整備されていないため、通勤通学時等には、自動車と歩行者が輻輳し、朝夕の通学時間帯において学童や歩行者が危険な状況にありました。

そこで、平成16年度から安全な歩行空間の確保にむけて、歩道整備を進めてまいりました。今後は残工区（L=690m）の円滑な事業推進に向け取り組んでまいります。

計画平面図



【事業概要】

事業名 一般県道 米子広瀬線 安田工区
 事業期間 平成16年度～平成24年度（予定）
 総事業費 約6.6億円
 計画延長 約1.7km
 うち供用済み延長約1.1km
 計画幅員 6.0m（10.0m）片歩道（2.5m）
 主要構造物 なかよし橋
 橋 長 L=25.2m（コンクリート桁橋）

テープカット



全景



9県知事共同で高速道路の早期整備を要望しました。

「第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す9県知事会議」

平成22年10月20日（水）、溝口知事は、高速道路の整備が遅れる9県で結成した「第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す9県知事会議」で、馬淵国土交通大臣および与党幹事長室に対して「第一次的高速道路ネットワーク形成に向けた政策提言」（今回の提言で3回目）を手渡しました。提言では、ミッシングリンクの早期解消に向け、「元気な日本復活特別枠」を活用した来年度予算の確保、本年度補正予算の優先配分、地方の意見を十分に聞いて高速道路整備のあり方の検討を早急に進めることなどを求めました。

知事は馬淵国土交通大臣との面談において、高速道路が未整備であることにより産業振興、企業立地の面で他地域との間に大きなハンディがある本県の現状を訴え、未着手区間の早期着工や、都市計画手続きが進んでいない区間への対応について配慮するよう強く要望しました。



馬淵国土交通大臣に提言書を手渡す溝口知事ら



国土交通大臣室で意見を述べる溝口知事

第一次的高速道路ネットワーク形成に向けての政策提言 ～元気な日本の復活のために～

私たち9県は、第一次的高速道路ネットワークの早期連結について、これまで2回にわたり政策提言を行ってきました。このたび国の平成23年度予算概算要求に「国土ミッシングリンクの解消」が盛り込まれ、私たちの悲願が、達成に向けて着実に前進するものと期待しています。

これからの地域主権の時代において、国の成長戦略のカギとなる地方の成長戦略を、「元気な日本の復活」につなげるためには、国土の基礎的な社会基盤である「**第一次的高速道路ネットワークの早期連結**」を、国策の第一順位として国が取り組み、国の成長戦略の目標年次である**2020年を目途に連結**することが必要であり、次の項目について提言します。

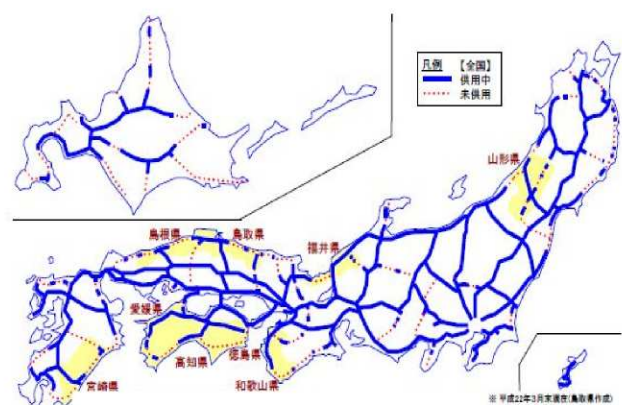
- ① 平成23年度予算については、「**元気な日本復活特別枠**」を活用し、「**国土ミッシングリンクの解消**」に必要な予算を確実に確保すること。
- ② 平成22年度の**補正予算**においても、第一次的高速道路ネットワークの欠落箇所へ**優先的に予算配分**を行い、早期連結を図ること。
- ③ 地方の成長戦略を左右する今後の高速道路整備のあり方の検討は、**地方の意見を十分に聞きながら早急に進めること**。

※第一次的高速道路ネットワーク

国の骨格を形成するために最も早く整備されるべき
基幹的な高速道路ネットワーク

- ・高規格幹線道路の内第二東名・新名神・大都市の環状道路を除く。
- ・高規格幹線道路網の欠落箇所をつなぐ地域高規格道路（三陸北縦貫自動車道、鳥取豊岡宮津自動車道、阿南安芸自動車道）を含む。

提言書の詳しい内容は、鳥取県HPに掲載されています。
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=149504>



※平成22年3月現在（鳥取県作成）

山陰道（三隅～益田間）が都市計画決定されました！

平成 22 年 9 月 9 日の都市計画審議会にて審議、了承された都市計画道路三隅益田線（山陰道三隅～益田間）が、10 月 19 日に都市計画決定となりました。これにより、未事業化区間の内訳は下記のとおりとなりました。都市計画済み区間の早期事業着手が望まれるところです。

<県内未事業化区間の内訳>

●都市計画決定済み	24.7 km
湖陵～多伎間	4.5 km
大田～静間間	5.0 km
三隅～益田間	15.2 km
●都市計画手続き未着手	24 km
温泉津～江津間	14 km
益田～山口県境間	10 km



中国横断道尾道松江線（尾道 JCT～世羅 IC 間） 11 月 27 日（土）に開通！

国土交通省により建設が進められている中国横断道尾道松江線のうち、世羅インターチェンジ～尾道北インターチェンジ～尾道ジャンクションの 19.2 km 区間が 11 月 27 日（土）15:00 に開通することが決まりました。これにより所要時間は尾道市～世羅町間で従来の約 50 分から約 10 分短縮されます。

残る区間は、三刀屋木次 IC～吉田掛合 IC（仮称）間が平成 23 年度、吉田掛合 IC（仮称）～三次 JCT・IC（仮称）間が平成 24 年度、三次 JCT・IC（仮称）～世羅 IC 間が平成 20 年代半ばに開通する予定となっています。



山陰道の整備は8割以上が「必要」と回答 県内の道の駅および高速道SA「高速道路に関するアンケート調査」

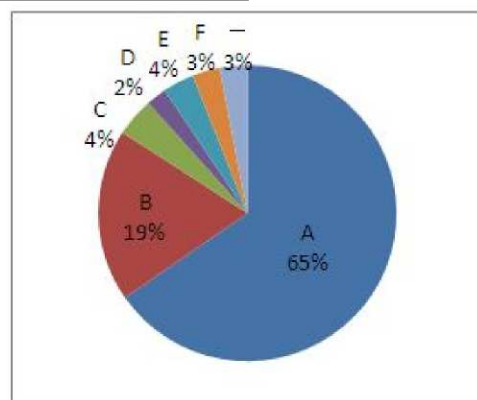
高速道路推進課では、高速道路の整備および高速道路の無料化に関する道路利用者の意識を把握することを目的にアンケート調査を実施し、下記のとおり結果をまとめました。

- <概要>
- ◇対象者 : 県内の道の駅や高速道路SA（16箇所）に立ち寄られた道路利用者
 - ◇実施期間 : 平成22年8月
 - ◇質問内容 : 高速道路の必要性、期待される効果、高速道路無料化の感想など
 - ◇回答数 : 497通（県内者223通、県外者274通）

<集計結果>

◇問：島根県内の道路を通行され、高速道路の整備についてどのように思われましたか？

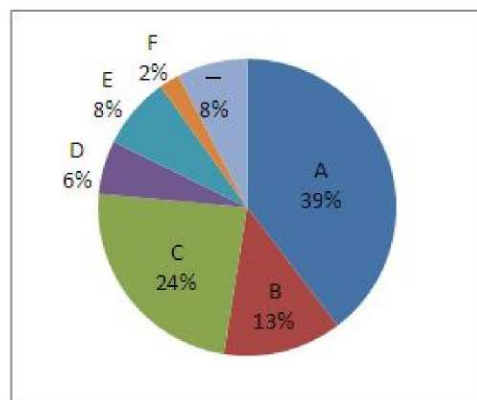
選択肢	県内		県外		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
A 絶対に必要	180	80.7%	145	52.9%	325	65.4%
B まあまあ必要	24	10.8%	69	25.2%	93	18.7%
C どちらとも言えない	6	2.7%	15	5.5%	21	4.2%
D あまり必要でない	0	0.0%	11	4.0%	11	2.2%
E 必要ない	5	2.2%	12	4.4%	17	3.4%
F 分からない	6	2.7%	9	3.3%	15	3.0%
未選択	2	0.9%	13	4.7%	15	3.0%
合計	223		274		497	



- 山陰道の整備については、8割以上が必要（「絶対に必要」65%、「まあまあ必要」19%）と回答した。
- 県内在住者では「絶対に必要」だけで8割を超え、高速道路整備への期待の高さがうかがえる。
- 県外在住者では「絶対に必要」は53%と県内在住者に比べて低いものの、「まあまあ必要」25%を含め、8割近くの方が島根県の高速道路整備について「必要」と回答している。

◇問：高速道路の無料化について、どう思われますか？

選択肢	県内		県外		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
A 非常に良い	94	42.2%	103	37.6%	197	39.6%
B まあまあ良い	30	13.5%	34	12.4%	64	12.9%
C 良い面、悪い面両方ある	45	20.2%	74	27.0%	119	23.9%
D あまり良くない	14	6.3%	15	5.5%	29	5.8%
E 良くない	25	11.2%	14	5.1%	39	7.8%
F 分からない	4	1.8%	7	2.6%	11	2.2%
未選択	11	4.9%	27	9.9%	38	7.6%
合計	223		274		497	



- 「非常に良い」40%と「まあまあ良い」13%を合わせ、無料化を肯定する意見が過半数となった。
- 一方、全体の約1/4近くが「良い面、悪い面両方ある」と回答し、「あまり良くない」6%と「良くない」2%と、無料化を否定する意見は全体の1割未満にとどまった。

★具体的な意見など、詳しい結果は高速道路推進課ホームページに掲載しております。

どうぞご覧ください。→→<<http://www.pref.shimane.lg.jp/kosokudoro/campaign/michinoeki.html>>>

みまた 美又農道が開通します

美又農道は浜田市金城町と旭町の境にある全長776mの農道です。平成4年から整備を進め、この秋、開通することとなりました。



県内位置図



『しまねの農業農村整備すごろく』

キャラクター

ドジョウのどうじょ君

美又農道は市道後谷線を経由して県道浜田八重可部線と県道田所国府線を結びます。

美又農道が開通すると

美又農道周辺の地域は、お米を中心に野菜・果樹・和牛・椎茸などとの複合経営が行われています。本農道の開通により地域と集出荷施設や市場への農産物輸送時間の短縮が可能となります。

農道の近くには美又温泉があり、旭 IC 方面からの美又温泉への一般車両の利便性向上も期待されます。

美又農道 位置図

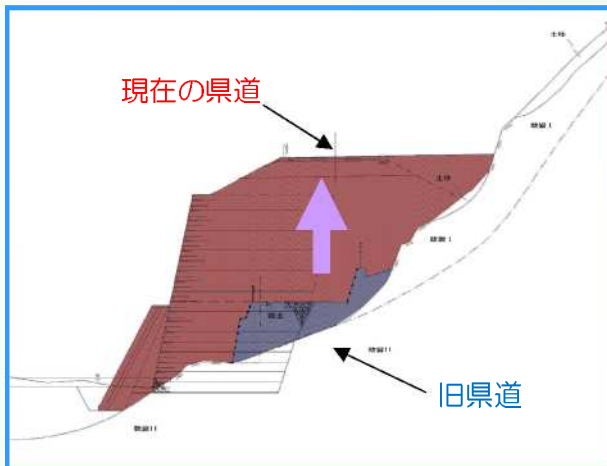


美又農道ができるまでにこんなことが
ありました。



県道との接続部（交差点部）の道路形状見直しによるコストの縮減

右の写真は美又農道と県道田所国府線との接続部を美又温泉方向から見たところです。写真中の矢印の辺りが美又農道との接続部となっています。



接続部付近の県道を横断方向から見てみると左の図のようになっています。

現在の県道路面は旧県道の路面位置からかなり上に移動しています。

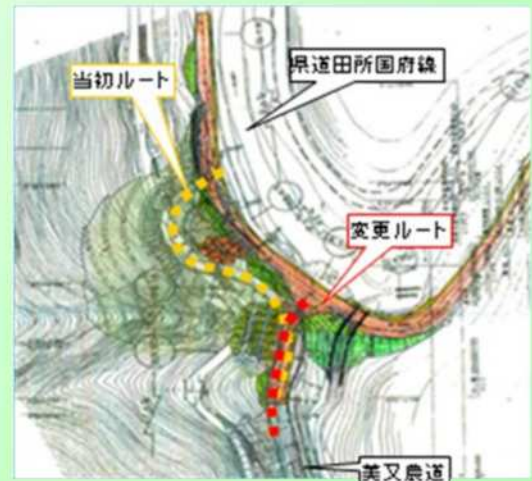
なぜかという・・・



美又農道と旧県道の高低差は大きいため、接続部で農道を大きく迂回させて徐々に高さを下げ、県道に接続する計画（右図の黄色ルート）でした。しかし、少しでも工事費が安くないかと検討し、県道をかさ上げして（路面の高さを高くして）接続する計画（右図の赤色ルート）に変更しました。



これにより約2千万円縮減できました。



ただいま開通に向けて最終の手続き中です。

開通日は島根県浜田県土整備事務所 HP 内の道路開通情報をご確認ください。

事業概要

- 事業名：一般農道整備事業
- 地区名：美又地区
- 工期：平成4年度～平成22年度
- 延長：776m
- 幅員：全幅員5.0m、車道幅員4.0m



林道を通って行きましょう！（東部・隠岐編）

今回は東部・隠岐地域の観光スポットへ利用されている林道を3路線ご紹介いたします。

- ①林道 南谷線
- ②林道 中谷線
- ③林道 荻田佐々布線



「乳房杉」 & 「トカゲ岩」

① 林道 南谷線

- 延長 : 11,754m
- 幅員 : 4.0m
- 開設年度 : 昭和12年～51年度
- 場所 : 隠岐郡隠岐の島町原田佛谷
- 管理主体 : 隠岐の島町

■乳房杉

島後の最高峰、大満寺山（標高608m）の東麓にある樹齢800年の古杉は根まわり16mで地上3mのところまで15に分歧しさらに地上10m位のところから20数個の巨大な鐘乳石状の乳根が下がり、長いものでは2.6mにも達しています。梅雨時期には、乳根の先から白い樹液が出ることからこの名がついたと言われています。隠岐の三代杉：八百杉・かぶら杉と共に日本の巨樹・巨木に掲載されています。



② 林道 中谷線

- 延長 : 534m
- 幅員 : 4.0m
- 開設年度 : 昭和7年度, 52年度
- 場所 : 隠岐郡隠岐の島町原田本谷
- 管理主体 : 隠岐の島町

■トカゲ岩

島後鷲ヶ山の頂上付近の80mの断崖を、全長約26mの大トカゲが昇天の姿で這い上がっている様に見える岩です。アノソクレス響岩質粗面斑岩の露出岩としてこれだけ巨大なものは世界でも例が少なく、学術研究上きわめて貴重な資料とされている岩石で、2・3百万年前の火山活動によってできたものといわれています。北海道の「風船岩」・岡山の「象岩」と共に日本三奇岩ともいわれています。



③ 林道 荻田佐々布線

- 延長 : 1,745m
- 幅員 : 6.0m
- 開設年度 : 平成元年編入
- 場所 : 松江市宍道町佐々布
- 管理主体 : 島根県

ふるさと森林公園

宍道湖を見おろす絶好のロケーションが好評です。園内には、スイス風コテージ、ケビン、キャンプサイト、オートキャンプ場などの宿泊施設や学習展示館、多目的広場、テニスコートが整備されています。また森のプライダルハウスでは、アットホームな雰囲気です。結婚式を行うこともできます。

〒699-0406 島根県松江市宍道町佐々布3353-2
 TEL 0852-66-2500
 FAX 0852-66-2575
 HP : <http://www.forestpark.or.jp/>



橋梁点検講習会を行いました 橋梁の健全性の確保に向けて！

橋梁点検講習会の目的

橋梁の維持管理に必要な知識の習得と自治体への技術支援を目的として、自治体の維持管理業務に携わる職員を対象とした橋梁点検講習会を開催し、橋梁保全の基礎知識の習得と普及を図り、橋梁の健全性の確保を図っています。

今年度の講習会について

今年度の橋梁点検講習会の取り組みについてご紹介いたします。

● 開催内容

日時 H22.9.30（木）～H22.10.1（金）

場所 講習：島根県職員会館

現地実習：小佐々布橋（鋼橋）

（松江市宍道町佐々布）



参加人数 52名

【講習】

鋼橋およびコンクリート橋の主な損傷と対策などについて、専門家による講義を行いました。



現地実習実施場所

小佐々布橋



【現地実習】

点検要領を用いて、橋梁の床版、主桁、下部工等の損傷状況調査を行いました。

まとめ

島根県における橋梁点検講習会は平成19年度から毎年実施しており、このような取り組みを通じて、橋梁の健全性の確保を図っていきたいと考えています。